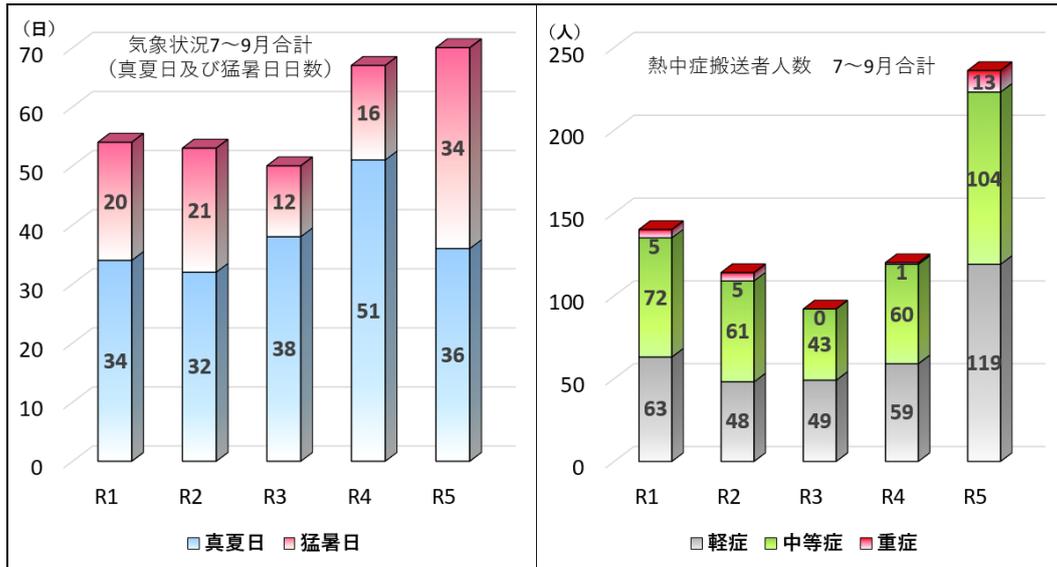


## 今夏の熱中症対策について

### 1 今夏の気象状況と熱中症搬送状況について

1943年に統計を取り始めて以来、今夏の鳥取市の猛暑日日数は過去最多(9月末時点で延べ34日)となり、また、7月22日～8月6日には過去最長の16日連続の猛暑日となりました。



- 7月～9月におけるR5の猛暑日の合計日数はR1～R4の平均の約2倍であった。
- また、熱中症搬送者人数はR1～R4の平均の約2倍となり、高齢者が全体の6割を超える。

(人)	R4.4.25～10.2	R5.5.1～10.1
高齢者(65歳以上)	94	164
成人(18歳以上65歳未満)	67	66
少年(7歳以上18歳未満)	34	31
乳幼児(7歳未満)	0	1

### ◆年代別における搬送人員数の傾向・課題と対策

年代	傾向・課題	考えられる対策
高齢者 (65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【住居】における搬送者数が半数以上。</li> <li>●「道路で倒れているのを発見された」「玄関前で倒れているのを発見された」等による搬送のほか、「数日前から倦怠感が続いている」といった体調不良から搬送されるケースも見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の見守り (特に高齢者)</li> <li>●涼める休憩場所の確保とPRの強化</li> </ul>
成人 (18歳以上65歳未満)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就業中や墓掃除、草刈り作業後等、屋外での仕事・作業中の発症が多く見られた。(土砂撤去作業後発症のケースもあった)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●熱中症の起こりうるケースに事前にアプローチ</li> </ul>
少年 (7歳以上18歳未満)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【運動】における搬送者数が大半。</li> <li>●砂丘観光中の発症も見られた。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>日常的に危機意識を持ち、周りの人への配慮も行う</p>
乳幼児 (6歳未満)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エンジンのかかっていない車内に閉じ込められるケースが発生した。</li> </ul>	

## 2 環境省地域モデル事業の取組

### ◆独居高齢者の屋内における熱中症対策

- ・他者に気付かれにくい独居高齢者の屋内での熱中症の対策として、民生委員の御協力をいただき、温湿度計配付・アンケートを実施とあわせた訪問による声掛け・注意喚起を実施



温湿度計・アンケートの配布数 2,961 部（アンケート回収 約 76%）

#### ◇対象の方の反応

- ・温度、湿度に応じて顔の表情が変わるタイプなので、危険を認知しやすい。
- ・体感より室温が高く驚いた。
- ・温湿度計を確認することで、エアコン利用や水分補給することにつながった。 など

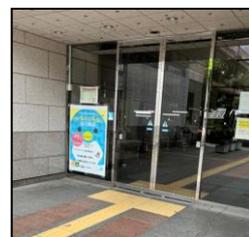
#### ◇民生委員の皆さんの感想

- ・今回協力いただいた方は、熱中症対策を実践されていた方が多かった。
- ・エアコンを嫌って使用しない、電気代を気にして使用しない人があった。
- ・対象者に含まれていない方、今回の取組に参加しないとされた方の方が心配。 など

### ◆クールシェルターの取組強化

- ・参加施設の拡大を図り、ステッカーを配付（登録施設 131 施設）

鳥取県立図書館：ステッカーを拡大し掲示→



#### ◇施設アンケート意見

- ・利用者に喜んでもらえた、施設利用目的外の方に利用いただく機会ができた。
- ・電気代が高騰しているため、経費の負担があった。
- ・クールシェルターの認知度が低い。

### ◆熱中症予防対策啓発動画による啓発

- ・テレビCM、セミナー、高齢者サロン、観光施設などで

動画を活用し、熱中症の予防を啓発

健康教室での活用→



## 3 今後の取組について

### ●高齢者対策について

今回取組の対象者とならなかった高齢者も含め、今後も地域のつながりを大切にしながら、自身が熱中症の危険性を認識し、積極的な予防対策を心がけてもらえるよう、様々な媒体による注意喚起や予防対策を呼び掛けていきます。

### ●クールシェルター・熱中症予防対策動画について

引き続きクールシェルター協力施設を募集し、認知度向上に向けた PR の強化にも努めていきます。また、利用者の声を聞く取組を検討し、熱中症予防動画も引き続き活用し、予防啓発を行います。

### ●その他庁内の取組

引き続き庁内における熱中症予防対策の実施状況の共有や、各部署で関係する事業所や施設、市民の方々への熱中症対策の推進を行っていきます。

- ・健康教室・高齢者サロンにおける注意喚起、パンフレットや OS-1 など予防啓発グッズの配布
- ・まちなかや風紋広場等のミスト設置（バード・ハット、風紋広場等ミスト・ミストファンの稼働）
- ・スポーツイベントにおける熱中症防止用品（経口補水液・塩分タブレット・氷など）の配布 など

